第15回 鮒ずし茶漬け

湖国の伝統料理「鮒ずし」のお茶漬けはいかが?

鮒ずしの元になった「なれずし」は、中国・東南アジア方面から 弥生時代、稲作と同時期に日本に伝わったといわれています。 湖国の地に根付いた鮒ずしは、各家庭で漬けられるようになり、 地域の伝統食となりました。





鮒ずし (Sサイズ・スライス) 130g

琵琶湖の子持ちニゴロブナを近江米と塩のみ で約5カ月漬け込みました。



賞味期間:14日

独特の風味がくせになる鮒ずし。 そのままでも、お茶漬けでも!

お好みで青ねぎ、とろろ昆布、わさび、 煎りごまなどを添えると、 さらにおいしくいただけます。

《材料》

(2人分)

983 鮒ずし(スライス) ・・・・・・・ 10切程度 温かいご飯 ・・・・・・・・・・・茶碗に軽く2杯 熱い煎茶(または番茶) ····· 400ml

747 白だし … 小さじ1程度(または塩ごく少々)

香味金すりごま ・・・・・・・・・・・・・・・・・大さじ1

188 産直 滋賀県産青ねぎ(小口切)

••• 小少々

とろろ昆布・わさび・煎りごまなど

《作り方》

- 茶碗に温かいご飯を少し入れ、上に鮒ずしを 2切、さらにご飯を盛って2~3切のせる。
- 2 熱く淹れたお茶に白だし(または塩)を加え て薄めのお吸い物くらいに調整し、①の上か ら注ぐ。 皿などで蓋をし、少し蒸らしてから いただく。

